

おおさき

～大きい輪、和、話～

Osaki



育苗巡回の様子（岩出山）

「新しい年度に向けて」

昨年はエルニーニョ現象で高温と降雨の多い年でした。今夏も発生の可能性が高いようですので、気象変動に強い栽培による安定生産が望まれます。

さて、先ごろ内閣は「新たな食料・農業・農村基本計画」を発表しました。その中では、農業の産業化を促進すること、農業の多面的機能を発揮しながら農地を最大限に活用することにより、「強い農業」と「美しく活力ある農村」の創出を目指しています。

しかし、十年後の全国の農業就業者（七十歳未満）の見通しは、九十万人を下回ると予想され、新規就業者は毎年一万人しか補充されず、今後水田農業の持続に支障をきたす恐れがあります。そのため政府は、新規就業者を含めた活力のある担い手を確保しながら、若い農業者が魅力を持てる、効率的かつ安定的な地域営農を、早急に構築するとしています。

このような取組は、大崎地域でも加速的に進むものと思われれます。普及センターとしましても、青年就農給付金や農地中間管理事業等の制度の活用を積極的に進めながら、地域農業の発展に向けて、皆様とともに集落営農や経営体の育成、産地拡大と六次産業化の取組み、新規就農者の育成などを、活動の重点におき推進してまいります。

大崎農業改良普及センター所長 庄司真知雄